

# きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



タツタタワー木津川市および  
タツタテクニカルセンター

## 令和4年度水道事業会計 予算の概要

### 収益的収支・税込

(単位:万円)

項目		令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比較
収入	水道料金	130,055	128,860	1,195
	手数料	288	324	△ 36
	下水道負担金	7,580	7,255	325
	他会計負担金	934	943	△ 9
	長期前受金戻入	50,416	51,638	△ 1,222
	その他(広告収入等)	259	275	△ 16
	計	189,532	189,295	237
支出	職員人件費	17,811	17,792	19
	動力費	12,333	12,621	△ 288
	薬品費	593	592	1
	受水費	47,682	47,100	582
	施設委託料(水質、機械等)	9,388	9,804	△ 416
	事務委託料(検針、宿直等)	2,869	2,873	△ 4
	修繕料	12,660	7,766	4,894
	支払利息	2,384	2,599	△ 215
	減価償却費、資産減耗費	76,780	79,449	△ 2,669
	貸倒引当金	1,000	1,700	△ 700
	その他(消費税、負担金、手数料等)	5,832	6,799	△ 967
	予備費	200	200	0
	計	189,532	189,295	237
差引		0	0	0

### 資本的収支・税込

(単位:万円)

項目		令和4年度 当初予算	令和3年度 当初予算	比較
収入	加入金	5,434	6,061	△ 627
	水道事業(開発)分担金	1,000	1,000	0
	工事負担金	6,696	3,181	3,515
	一般会計出資金	1,954	4,063	△ 2,109
	企業債	20,000	0	20,000
	財政調整基金繰入金	60,000	0	60,000
	計	95,084	14,305	80,779
支出	建設改良費	147,321	56,726	90,595
	企業債償還金	10,109	10,040	69
	財政調整基金積立金	0	1,000	△ 1,000
	予備費	300	300	0
計	157,730	68,066	89,664	
差引		△ 62,646	△ 53,761	△ 8,885

※収入と支出の差額は、過年度留保資金等で補てんします。

令和4年度水道事業会計の予算が3月市議会定例会において可決されましたので、その概要をお知らせいたします。

水道事業会計は、水道水をつくったり、施設の維持管理のための経費を扱う収益的収支と、水道管の更新や施設の建設などを行う資本的収支に分かれています。ここでは、それぞれの収支について昨年度と比較しながら簡単に紹介します。

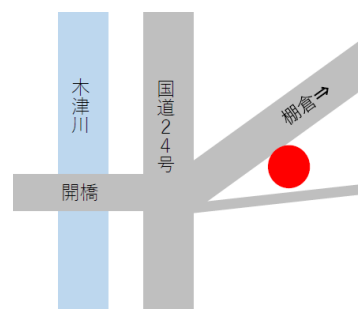
まず、収益的収支の収入では、令和4年度の水道料金収入は、人口の増加により昨年度より1,195万円の増額となっています。下水道負担金は、水道メーター取替費用の増加により325万円の増額となっています。財政調整基金からの繰入(実質の赤字補てん)は昨年度に引き続き行わず、黒字経営ができる見込みとなっています。長期前受金戻入は、減価償却費及び資産減耗費の特定財源部分です。また、支出では、水需要の増加に対応できるよう受水費で582万円の増額となっています。修繕料では、漏水修繕やメーター交換のほか、吐師受水場、木津受水場、観音寺浄水場、船屋浄水場、木津東配水池などにおける部品交換を予定しています。

次に資本的収支の収入では、新規の水道加入件数が減少するものとして、加入金を627万円減額しています。公共下水道工事や河川工事などに伴う木津川市および京都府からの負担金は3,515万円の増額となり、一般会計からの出資金は2,109万円の減額となっています。また、支出では、老朽配水管及び下水道関連の布設替工事、舗装復旧工事のほか、山城浄水場更新工事、加茂地区の施設更新に向けた基本計画策定業務などを行う予定となっています。

計画的かつ効率的な事業  
運営に努めてまいります。



## 山城浄水場を全面的に更新します。



位置図

現在の山城浄水場は昭和49年度に完成した施設で、山城地域全域の水道水を担っています。耐震化を図るため、令和4年度から全面的な更新工事に着手します。新しい山城浄水場は令和7年度末から運用を開始し、既存施設の撤去を含めて令和8年度中の完成を目指しています。また、浄水能力は現在の4,000 $\text{m}^3$ /日から3,300 $\text{m}^3$ /日にダウンサイジングし、災害時の安全対策として電力引込線を2重化します。総工事費は21億8,179万円の見込みで債務負担行為を設定しています。

## 新素材の水道管について職員研修を行いました。



令和3年12月15日～16日に積水化学工業(株)様のご協力で、ハイパーポリエチレン管という新素材の水道管について職員研修を行いました。ハイパーポリエチレン管はダクタイル鋳鉄管に比べて軽量で耐久性も十分にあることから、特に小口径の水道管工事で施工性が良いとされています。木津川市水道でも本格的な導入を検討しています。

## 人材育成・技術継承の状況

木津川市では、水道事業管理者による職員の自己啓発表彰制度を導入し、上下水道分野の人材育成・技術継承に取り組んでいます。令和2年度～令和3年度で日商簿記2級に1名、日商簿記3級に1名、第2種下水道技術検定に1名の職員がそれぞれ合格しています。



編集・発行・ネーミングライツのご相談  
木津川市上下水道部水道業務課 TEL : 0774-75-1250